

## 組織

会長	嘉藤 貴子	(合川中学校)			
副会長	藤島 幹子	(上小阿仁小学校)	三澤 正敏	(成章小学校)	
	渡辺 俊春	(南小学校)			
事務局	佐々木 亜希子	(田代中学校)	沼田 桃子	(森吉中学校)	
研究部	工藤 明美	(合川中学校)			
会計	佐々木 由美	(北陽中学校)	山崎 真紀子	(東中学校)	

## 主な事業

春の総会 (4 / 15)

→メール型に変更

素描集「北の造形」第53集発刊・配付  
秋田県児童生徒美術展賞状 配付  
(1 / 13) 会場：有浦小学校

秋田県児童生徒美術展地区審査会

素描集「北の造形」第53集審査会

第43回絵を見て語る会

臨時総会 (11 / 20)

会場：田代公民館

最終理事会 (1 / 15)

→メール型に変更

## 研究会の記録

今年は予定通りとはいかなかったが、コロナ禍であっても臨機応変に事業を行うことができたと思う。秋田県児童生徒美術展地区審査会は、例年と同じような期日・会場で、感染症予防対策をしながらの開催となった。展示作業がない分時間にゆとりが生まれたため、例年は1月に行っている「絵を見て語る会」(研修会)を同時開催とした。審査をしながら、一つ一つの作品の材料や用具の工夫、作者の思いにふれながら、指導方法についての研修を行った。児童生徒に必要な感をもたせた題材づくりや、一人一人に主題をもたせるための指導の工夫の大切さを共通理解した。小学校では今年度から、中学校では来年度から目標が3本柱に整理され、それにもとない評価の観点も整理されることを受けて、評価方法についての話し合いをもつことができた。

同日に、素描集「北の造形」の審査会を行った。幼・小・中と発達段階が上がるにつれて、より対象の形や色、質感を捉える力が高まってくる。素描とは、単に立体の物を平面に描き表すのではなく、観察者が感動したことを紙の上に表出する過程である。今後も子どもたちが、身の回りの物や人の表情、景色など、「美しい」「不思議だ」「描きたい」と感じた感動を、素直に表出できる心と技術を育てていきたい。

しかしながら、53年の歴史をもつ素描集「北の造形」は今年度を最終刊とした。授業時数削減のため作品制作の時間確保が難しい、学習指導要領の内容とは一致しない、造形会員数の減少により運営の負担が大きい、などの理由からである。長年続いた展覧会を廃止することは苦渋の決断であったが、時代に合わせて事業を見直したり、精選したりしたりすることは、今後も様々な場面が必要になってくると思う。全会員で知恵を出し合いながら、児童生徒の感性や能力を育てていくために効果的で持続可能な造形教育の在り方を模索していきたい。



絵を見て語る会発表場面



絵を見て語る会発表場面